

こぶしネット 感染症対策グループ 活動報告

辻正純 中畠ひとみ 中山高文
西田佳史 東田卓也 松田恵美
村瀬崇人 山田奈津 山本一成

2020.11.21

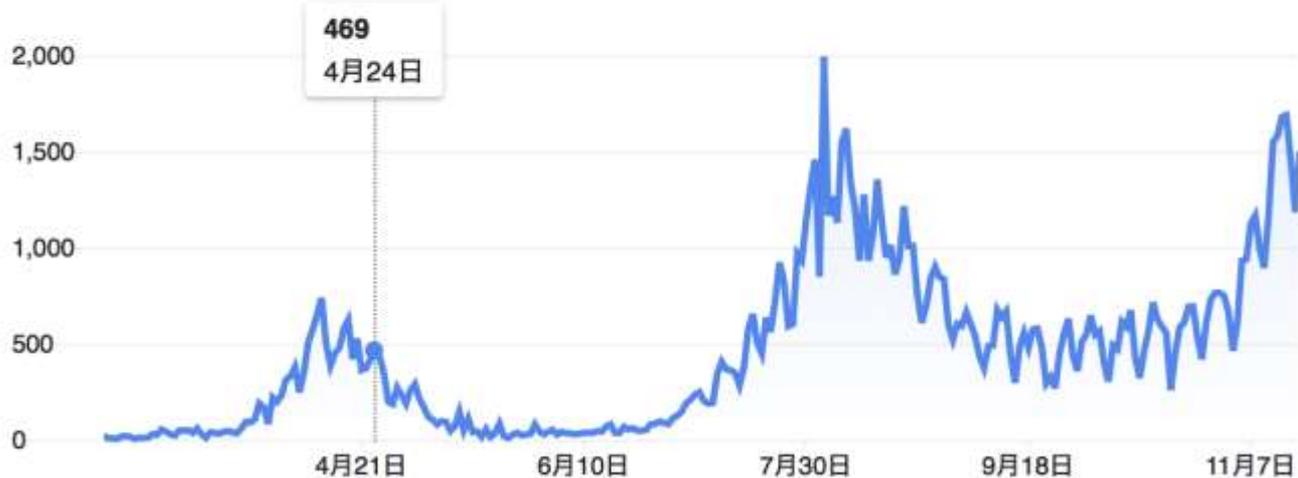
<活動報告>

- 2020.4.25 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」
- 2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査
- 2020.5.14 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」
- 2020.5.18 感染対策資料、こびしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」
- 2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認
- 2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議
- 2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議
- 2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議
- 2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議
- 2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

新たな感染者数 ▾

● 日本 ▾

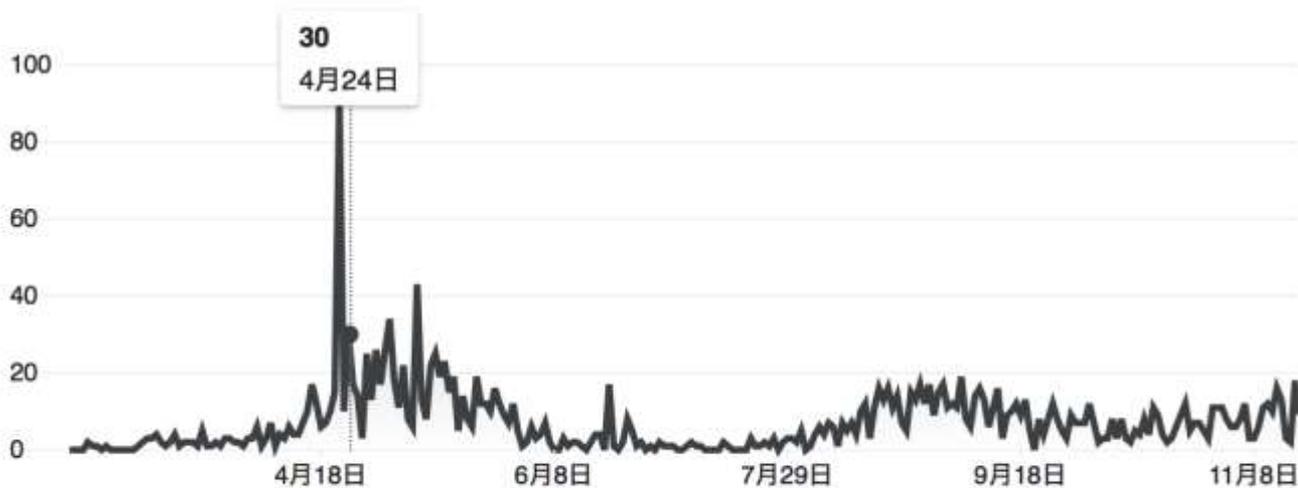
全期間 ▾



死亡者数 ▾

● 日本 ▾

全期間 ▾



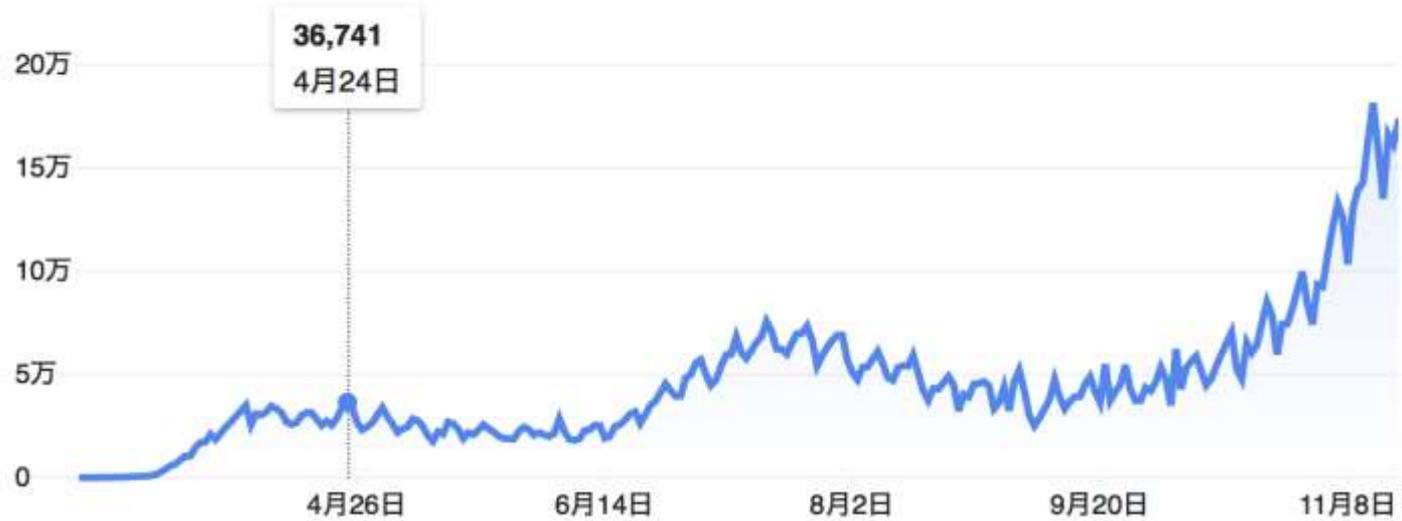
新たな感染者数 ▼



アメリカ合衆国 ▼

すべての地域 ▼

全期間 ▼



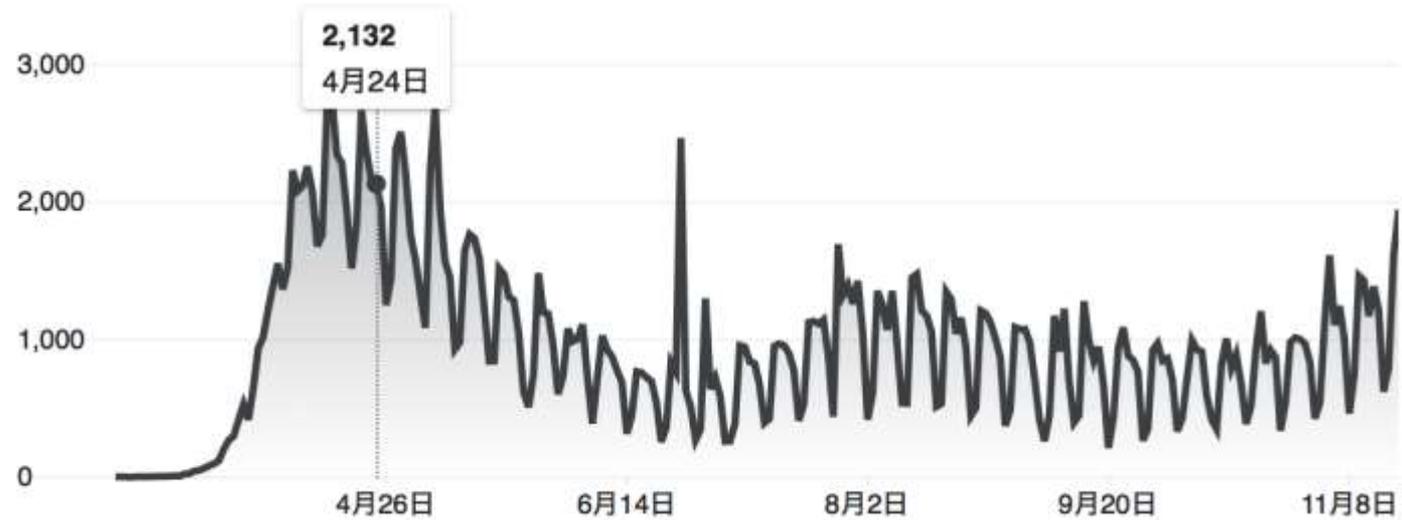
死亡者数 ▼



アメリカ合衆国 ▼

すべての地域 ▼

全期間 ▼



<活動報告>

2020.4.25 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」

2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査

2020.5.14 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」

2020.5.18 感染対策資料、こぶしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」

2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認

2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議

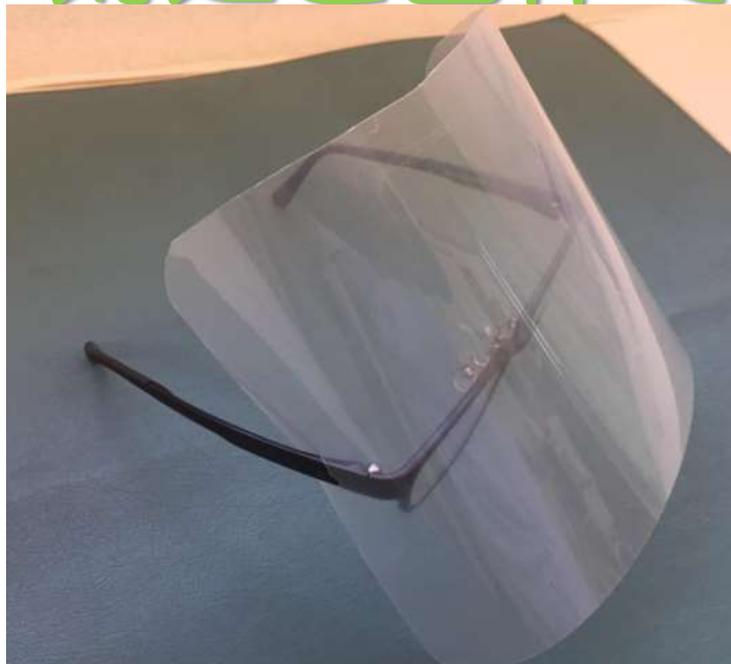
2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議

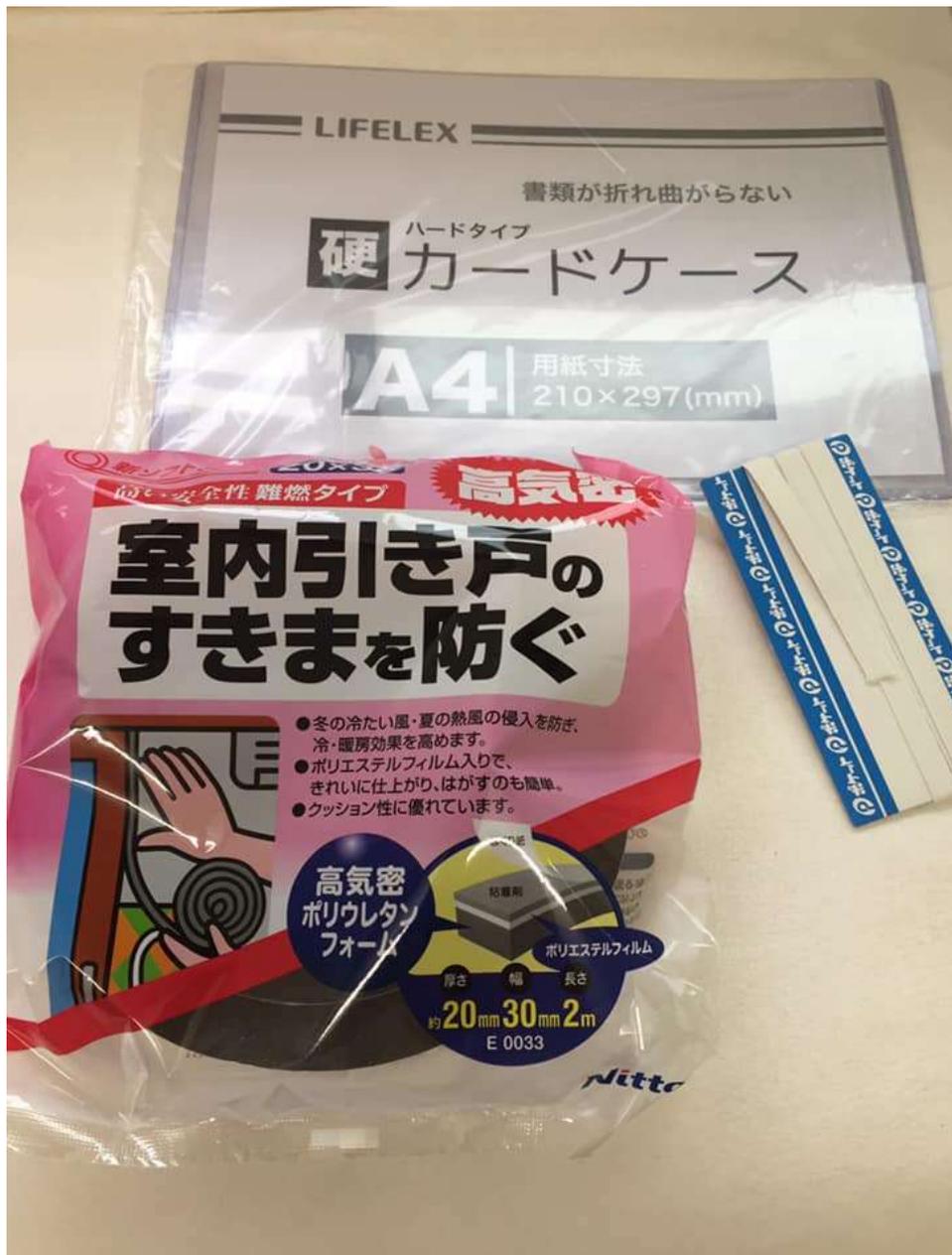
2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議

2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議

2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

～かかりつけ医に聞く～ 感染流行期における介護現場での 対処と自作できる感染防御術





<ヘルパーさん・訪問介護事業所からの声>

- 排泄や食事の介護の現場では、**3密回避は困難**。入浴介護ではマスク着用も難しい。
- 訪問ヘルパーは利用者と濃厚接触者になる可能性が高い割に、**医療従事者ほどのいろいろな支援はない**。
- たとえ利用者が発熱していても、**当たり前のように訪問介護の要請がくる**。
- 人の密集しているスーパーへ買物へ行ったりしなければならぬ。トイレットペーパー等、利用者からの依頼があれば見つかるまで何回もスーパーを回らなければならない。
- 訪問ヘルパーも高齢化が進んでおり、持病を持つ方もいる。**重症化リスクが高い中での訪問は本当に怖い**。
- 訪問先の利用者様はほとんどの人がマスクを着けてくれない。
- **対応についての具体的な指示が欲しい**。
- 万が一、施設内で感染者が出た場合のリスクは甚大で、**閉鎖や倒産も視野に入れながらの営業**。
- **ハイリスク、ローリターン**。

<このweb研修会で気が付いたこと>

職種、立場による温度差
(安易なアドバイスは介護崩壊を助長する)

私「コロナ禍の中では標準予防策(マスク着用など)を徹底して欲しい」



あるヘルパー「そんなに危険なのなら、ヘルパー辞めるわ」



(介護崩壊)

あるケアマネ「介護崩壊を防ぐため、ヘルパーさんに向けて『コロナは危ない病気じゃないから今まで通りで大丈夫』
と言ってあげてください」



私「そんなこと、言えません」

なんとか、意識の違う多職種間で寄り添うことができないものか。



まずはヘルパーさんの気持ちを知ろう。

<活動報告>

2020.4.25 ケアマネージャー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」

2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査

2020.5.14 ケアマネージャー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」

2020.5.18 感染対策資料、こぶしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」

2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認

2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議

2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議

2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議

2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議

2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

新型コロナウイルスの影響に関するアンケートの まとめ（4/27～5/8回答分）

【アンケート内容】

**日本介護支援専門員協会（ケアマネ協会）東淀川
支部より、新型コロナウイルスの影響に関して、
アンケート依頼がございました。**

**大阪市など各行政機関へ現場側の意見を伝える中
で、訪問介護事業所での困り事・悩み事などを
いただきたい。といった内容です。**

**運営面でもサービス面でも何でも構わないので、
実態について情報が欲しいとの事です。**

新型コロナウイルスの影響に関するアンケートのまとめ (4/27～5/8回答分) 一部抜粋

現場は大変な状態です。

手袋・マスク・防護服なども無く、事業所が必死に探し、ヘルパーさんを守っている状態です。

買い物などの支援も、人が多く、ヘルパーさんも子供がいたり、持病を持っている方もいますが、不安を抱えながら行っています。

利用者さんもマスクをお願いしても、してくださらない方もたくさんいます。

認知症の独居の方などは、何度も説明しますが、外出したりもしますし、マスクの着用も促してしてもらわないとしていません。

病院なども、今の状態で行くのが怖いですが、行かないとダメな時も、もちろんあります。

介護は何の補償也没有ありません。

危険や不安を抱え、身体介護もしています。

危険や不安を抱え、サービスに行っているヘルパーさんにもっと補償をしてあげたり、危険を伴うので手当をあげてほしいです。

もっと介護の方にも国の補償をお願いしたいです。

訪問介護は止まれません...

< 研修会・アンケートからの気づき >

- ヘルパーさんは医療専門職(医師や看護師)に対し、十分には**本心を語っていない**。
- 介護の現場では食事介護・排泄介護・入浴介助と、どうしても密な状態となってしまう。**3密回避は不可能**。
- 生活に密着した行為が多いため、独居老人の場合など、**ヘルパーなしでは生活が維持できない高齢者はたくさんいる**ので介護をやめられない。
- 消毒用アルコールやマスクなどの配布は医療職が優先**され、ヘルパーを優遇してくれることは少ない。
- 知識が乏しく、**漠然とした不安**に押しつぶされそうである。

<活動報告>

2020.4.25 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」

2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査

2020.5.14 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」

2020.5.18 感染対策資料、こぶしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」

2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認

2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議

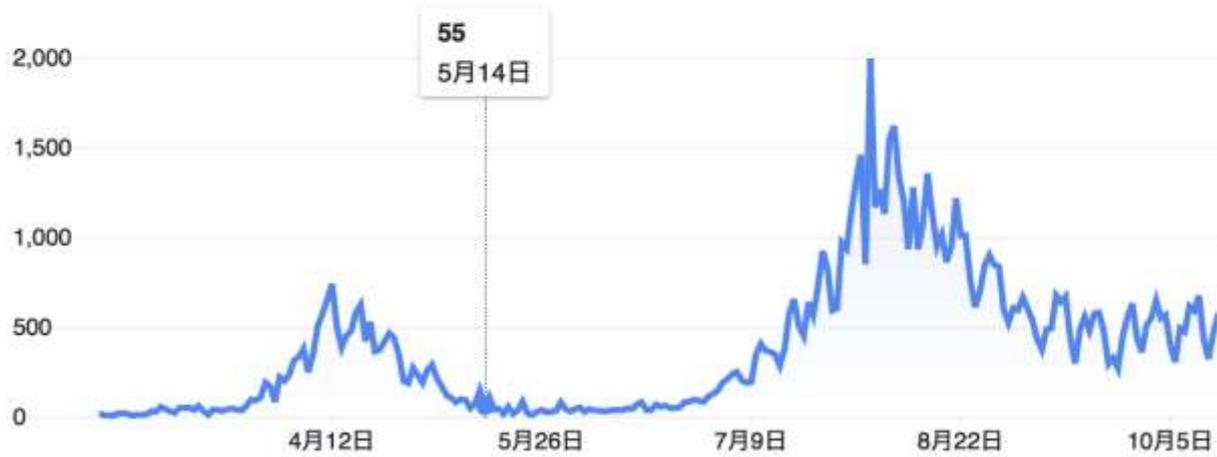
2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議

2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議

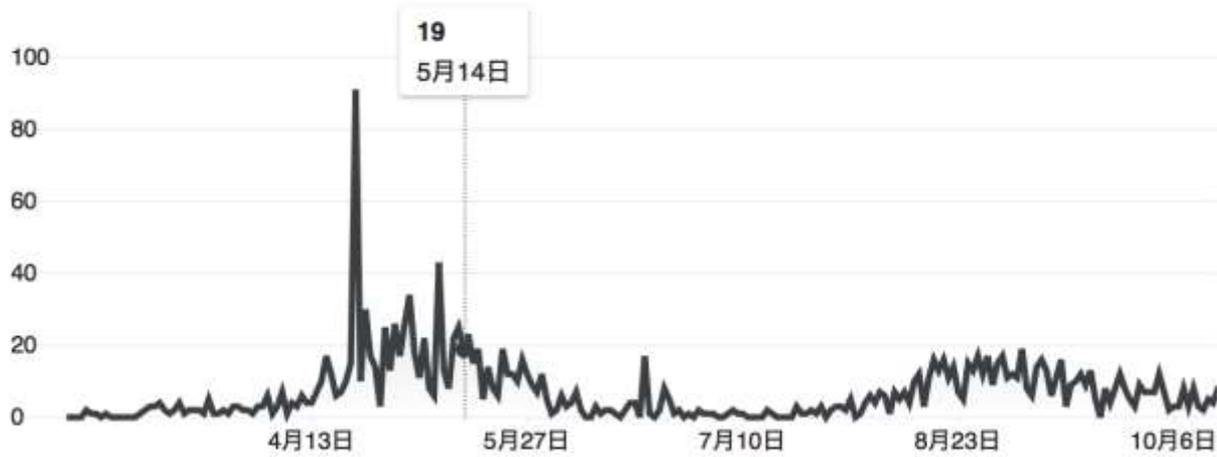
2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議

2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

新たな感染者数 ▾ ● 日本 ▾ 全期間 ▾



死亡者数 ▾ ● 日本 ▾ 全期間 ▾



【ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部・東淀川区訪問介護連絡会合同Webミーティング】

- 講義ではなく質疑応答形式で開催された約2時間半、長時間であったが楽しかったので短く感じた。
- お互いの理解レベルに差のあるもの同士の勉強会なら、たとえオンラインの画面を通してであっても顔の見える質疑応答形式が必要。
- こういった草の根活動こそが、介護崩壊を防ぐ礎(寄り添い)になるのかもしれない。



<参加者12名>内訳 ケアマネ5人
ヘルパー6人
医師 1人

<活動報告>

2020.4.25 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」

2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査

2020.5.14 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」

2020.5.18 感染対策資料、こぶしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」

2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認

2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議

2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議

2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議

2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議

2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

感染症まん延期における ヘルパーステーションからみた新型コロナウイルス 感染対策の提案書 (ver.1.1) (2020.5.15)

この資料は、住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現のために、日夜活躍しているホームヘルパーさん、利用者様、事業所を守ることを目標に作成しています。新型コロナウイルス感染症がまん延する中、世の中は新しい生活様式へと変わりつつあります。在宅介護も新しいスタイルへと、みんなで一緒に変わっていきましょう。

<一人で悩まないように>

介護職の皆様が安心して職責を果たすためにはまず自分を守らなければなりません。提案書にはあくまで基本的な事項が書かれています。しかしながら訪問の現場ごとに状況は違います。不安があれば、一人で悩まず「報告」・「連絡」・「相談」を思い出してください。「こぶしネット」は患者様・利用者様の在宅生活を見守っていく仲間たちの集まりです。在宅医療・介護に関わる全ての職種がこの新型コロナウイルス禍に立ち向かおうではありませんか。

<活動報告>

2020.4.25 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「感染症流行期における介護現場での対処と自作できる感染防御術」

2020.4.27～5.8 訪問介護事業所へ
新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査

2020.5.14 ケアマネージャー・ヘルパー向けweb研修会
「ストップ介護崩壊 大阪介護支援専門員協会東淀川支部、
東淀川区訪問介護連絡会 合同 Webミーティング」

2020.5.18 感染対策資料、こぶしネットのホームページから配信
「感染症まん延期におけるヘルパーステーションからみた
新型コロナウイルス感染症対策の提案書」

2020.5.21 新WG「感染症対策ワーキンググループ」コアメンバー会議で承認

2020.6.4 第1回 感染症対策WG web会議

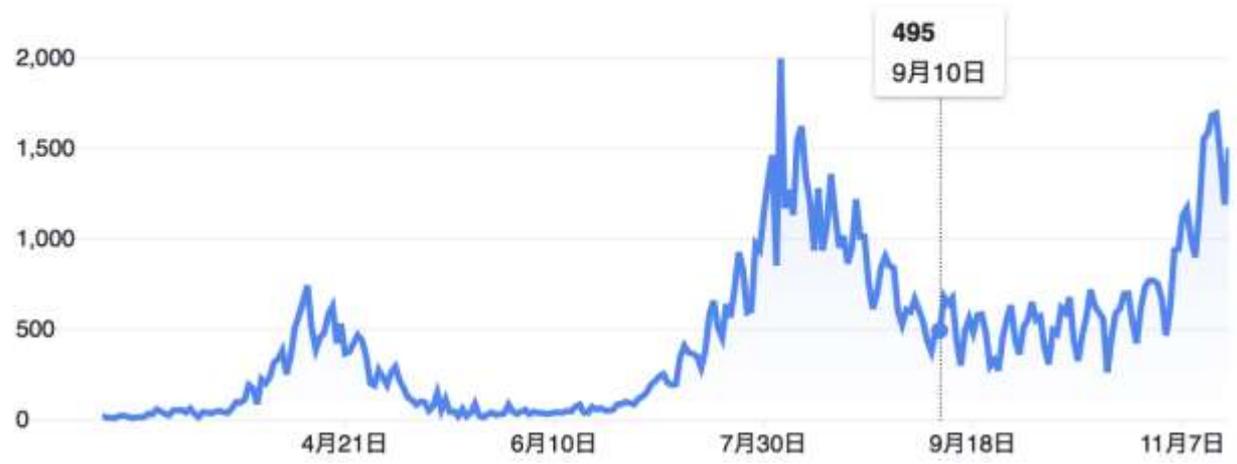
2020.6.18 第2回 感染症対策WG web会議

2020.7.16 第3回 感染症対策WG web会議

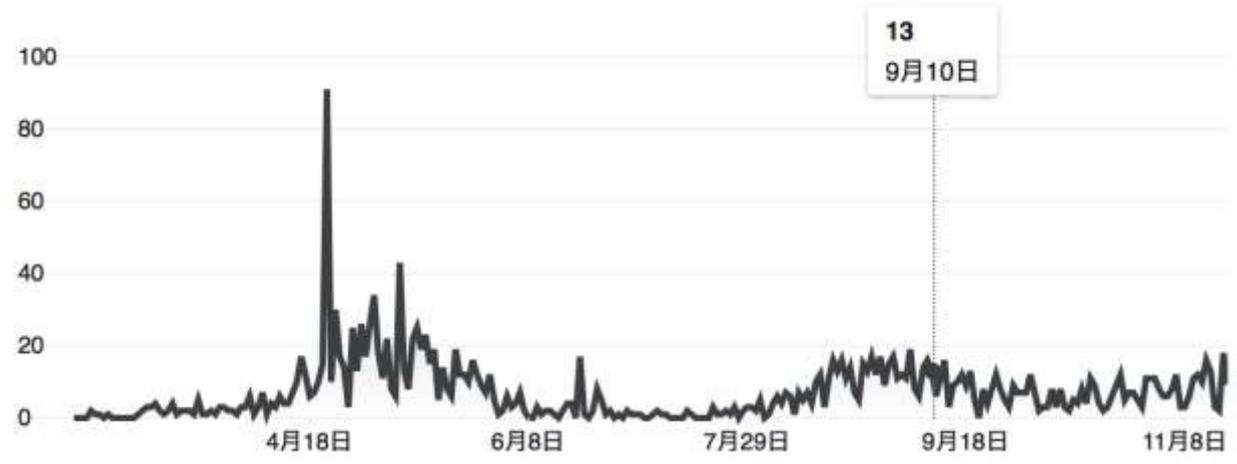
2020.8.28 第4回 感染症対策WG web会議

2020.9.10 ヘルパー向けWeb 研修会
「これでいいの?! 感染症対策(予防)一緒に学びましょう」

新たな感染者数 ▼ 日本 ▼ 全期間 ▼



死亡者数 ▼ 日本 ▼ 全期間 ▼

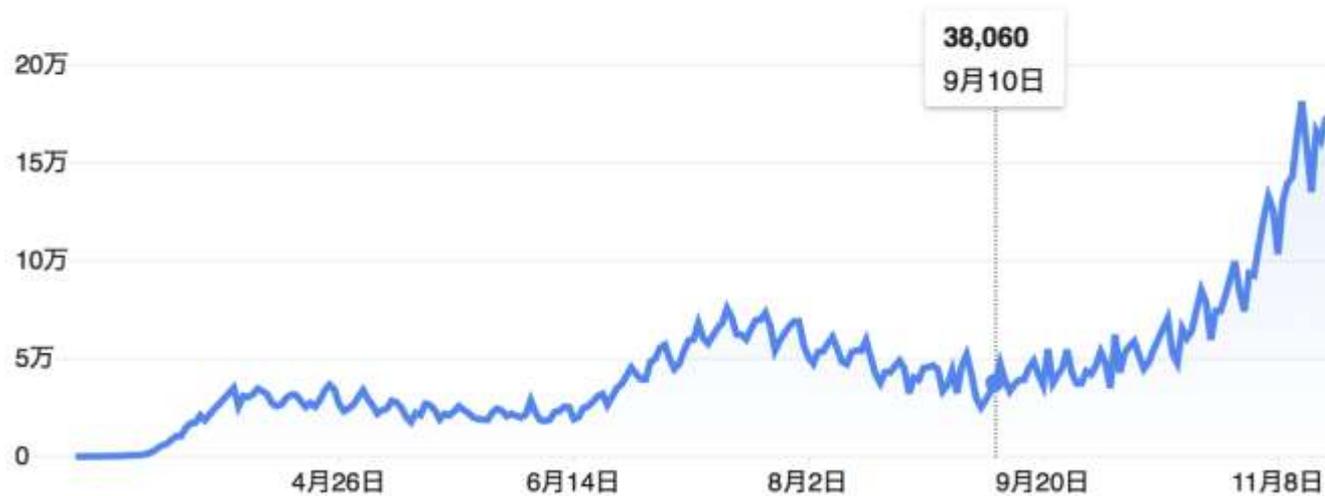


新たな感染者数 ▼

 アメリカ合衆国 ▼

すべての地域 ▼

全期間 ▼

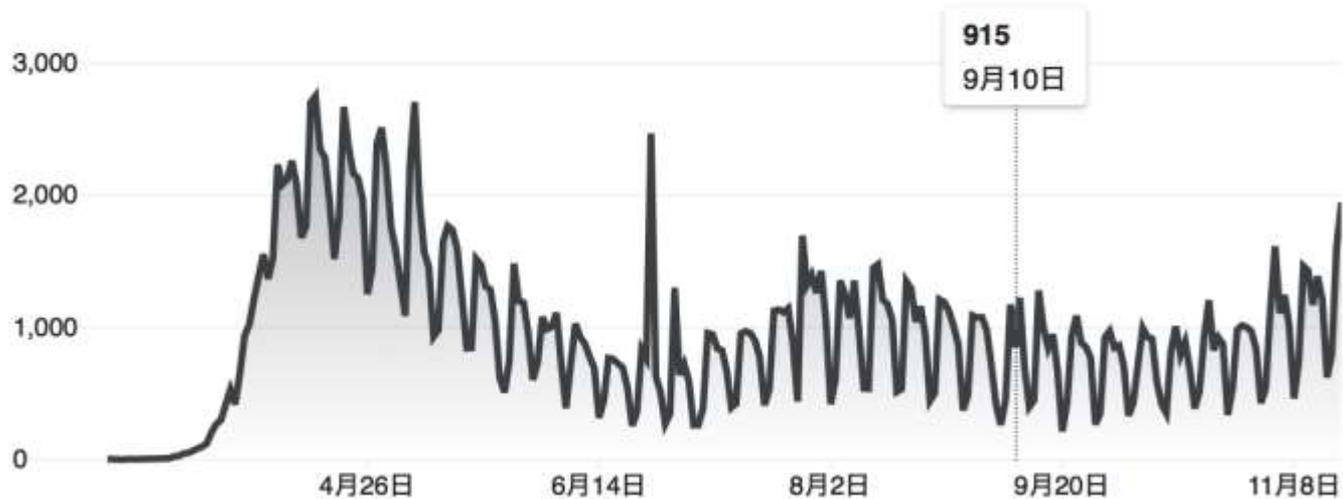


死亡者数 ▼

 アメリカ合衆国 ▼

すべての地域 ▼

全期間 ▼



これでいいの?! 感染症対策（予防）

一緒に学びましょう

新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息のきざしがみえません。

日々の介護の中で、感染症対策（予防）について「これでいいのかな?」「こんな時はどうしたらいいのかな?」と思うことがあると思います。

今回、こぶしネット感染症対策グループでは「ヘルパーステーションからみた新型コロナウイルス感染症対策の提案書」を作成致しました。

皆様にぜひ提案書についてご理解頂き、感染症対策についての知識を高めて頂きたいと思えます。

日 時：令和2年9月10日（木）14時～15時

開催方法：Zoom を活用した Web 研修会

講演内容：1. 「ヘルパーステーションからみた新型コロナウイルス感染対策の提案書」について

講師：東淀川区医師会 西田医院 西田 佳史先生

2. 「訪問看護師からお伝えしたいこと」

講師：きたりハビリ訪問看護ステーション 管理者 松田 恵美子氏

対 象：訪問介護（ホームヘルパー）

訪問看護師からお伝えしたいこと

医療法人至心会
きたりハビリ訪問看護ステーション
松田恵美子

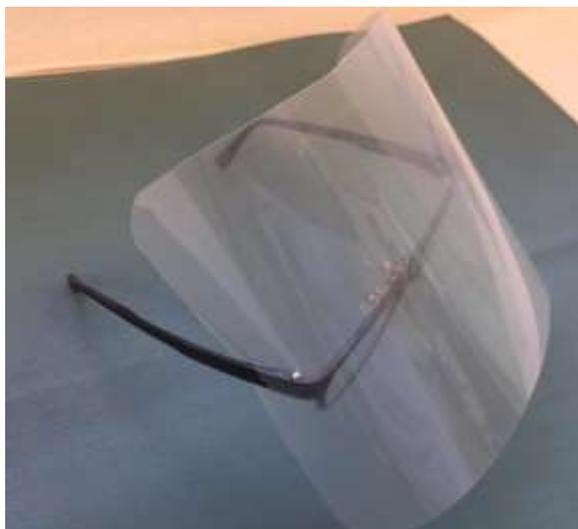
みんなで乗り越えましょう

体調が悪い時は無理をしない
1人で悩まない
隠さない

日頃から信頼できる相談相手や協力者を。

在宅医療・介護の連携
訪問看護師も活用してください。

～かかりつけ医に聞く～
感染流行期における介護現場での対処と
よくある質問集



東淀川区の在宅医療連携を考える会『こぶしネット』
大阪市東淀川区 西田医院 西田佳史

2020.9.10

<よくある質問 1>

新型コロナ患者の濃厚接触者と
濃厚接触したら
濃厚接触者になるのか？！



なりません！

<よくある質問 2>

コロナ患者と握手をした。

排泄物を触ってしまった。

コロナに感染してしまうだろうか？



感染しません。



その手で自分の目や口を触ってしまった。



感染するかもしれませんが。

<まとめに変えて、T先生からの手紙>

在宅ケアにおける感染対策では、できる範囲で関係者が心がけることでゴールと考える。**暮らすことで、介護することで、精いっぱい家庭も少なくない。**

本人の疾病観、介護者の知識と経験など、様々な事情を総合的に判断して、とるべき感染対策の落としどころを探す必要がある。

感染対策に用いる資器材が家庭の負担になることを理解する。むしろ、限られた資器材をいかに効率よく活用するかを、専門家の立場から本人や家族へと柔軟にアドバイスする必要がある。

現場で続けることができず、破綻することが明らかな対策を専門家として提案すべきではない。在宅ケアの現場に挫折感や罪悪感を残すことがないように、家庭や施設ごとに「継続して実施可能な感染対策」と「対策疲れに陥らない期間」を見極める。とくに、感染が広がってしまったときに、「誰かのせい」にならないよう説明しておくことが大切である。

暮らしの感染対策とは、専門家によって一方的に指導されるものではなく、本人や家族、支援者らの参加によって「共通の価値観」として形成されてゆくべきものだ。**暮らしとは素晴らしい多様性をもっている。この多様性を失わせるような感染対策には慎重でありたい。**ただし、家庭を訪問したり、施設で働いたりしている医療や介護の従事者が、標準予防策を遵守することは最低限必要なことである。手指衛生のほか、個人防護具を適切に使用することで、他の利用者へと伝播させないように注意しなければならない。

ご清聴ありがとうございました

